

8月7日 | 優良献立は給食に採用

地産地消や食に対する関心を高めてもらおうと、中学生が考案した給食メニューのアイデアや料理の腕前を競う「島田市中学生料理バトル」が開催されました。

9回目を迎えた今年は、プラザおおりと六合公民館の両会場に、5校から12チーム46人が参加。生徒たちは、地場産品を使用したコロッケや具だくさん島田汁など、個性あふれる献立の調理に挑戦しました。



8月17日 | ^{れんだい}輦台を担いで「ヨイト、ヨイト」

島田宿大井川^{かわごし}川越遺跡で「キャンドルナイト in 川越街道」が開催されました。これは、島田市と藤枝市が連携した「東海道街道文化創造事業」の一環で、地域活性化に取り組む有志団体「おしゃればーいず」が企画しました。

街道では、川越^{にんそく}人足に扮した若者が、来場者を乗せた輦台を担ぎ、大井川の川越しを再現。夜には、約300個の花灯籠とキャンドルが、街道を幻想的に照らしました。

しまだトピックス

「島田髷」を結って市内を散策



8月3日、地域おこしに取り組む(株)まちづくり島田が主催する「島田髷娘体験ツアー」が行われ、市内外から9～36歳の女性14人が参加しました。

髷結いには、13軒の美容室が協力。地毛に合わせて、「乙女島田」や「桃割れ」など伝統的な髪型が選ばれました。参加者は、髷を結び終わると浴衣に着替えて、市内の名所や「島田夏まつり」を散策しました。





8月15日 | 熱い声援に飛び散る水しぶき

川根町家山の野守の池周辺で「野守まつり」が開催され、午前中には恒例の「和船漕ぎ大会」が行われました。

18回目となる今年は、43組86人の精鋭たちが出場。レース中だけは雨が上がるという奇跡的な天候の中、選手たちは湖畔からの声援を受けながら、オールに全力を込めた熱戦が繰り広げられました。夜には、花火大会や灯籠流しが行われ、湖面と山々が彩られました。

8月24日 | 待ちに待った光と音の競演

「第27回大井川大花火大会」が大井川河川敷で開催され、約8,000発の花火が、島田と金谷の夜空を彩りました。

全国的にも珍しい、川の両岸から打ち上げられる花火大会。台風の影響による二度の延期にも関わらず、今年も市内外から多くの見物客が来場しました。次々と打ち上げられる大輪の花が、川面を華やかに染め上げるたびに、両会場から大きな拍手と歓声が上がりました。



手塩にかけた茶畑で（永田英樹さんと妻の和世さん・左）

しまだトピックス

二代で農林水産大臣賞を受賞



8月29日に「第68回全国茶品評会」の審査結果が発表され、永田農園（猪土居）の永田英樹さんが、深蒸し煎茶の部で最高位の農林水産大臣賞を受賞しました。

10年前には、父の憲三さんが同賞を受賞。英樹さんは就農12年目で、親子二代での快挙を成し遂げました。また市内からは、吹木茶農協と井村製茶（井村典生さん）が入賞しました。おめでとうございます！